

一人の声を大切に！

さいたま市議会議員

吉田ひとし

さわやか通信

＝さいたま市議会 6 月定例会報告＝

さいたま市議会 6 月定例会が、6/10～7/3 の会期で開催されました。

今定例会では、約 47 億円の一般会計補正予算議案・条例議案・人事議案・議員提出議案・委員会提出議案など 41 件の審査が行われました。

市長提出の 2 議案（市営霊園・浦和斎場の指定管理者制度導入）は継続審査となり、他の議案は全て可決、成立となりました。

また、今定例会では新たに 6 つの特別委員会が設置され、私は「東部地域における地下鉄 7 号線及び公益施設整備推進特別委員会」の副委員長に就任となりました。



保育行政・高齢者の健康づくり～保健福祉委員会で議会質問～



保健福祉委員会は、健康・障がい・医療・介護・子育てなど様々な福祉分野と保険分野を所管する委員会です。今後、急速に進展する少子化・超高齢化社会に対応していくための施策が益々重要となります。

私は、待機児童の解消・高齢者福祉の充実・障がい者福祉の拡充等に取り組む中、今定例会で保育士不足への対応策や障がい児・病児保育に関する問題などの保育行政、高齢者の健康づくりについての 2 項目を質問しました。

保育現場の課題解決を急げ！

- 保育士の確保へ市独自の取り組みを！
- 障がい児・病児保育の充実を！
- 保育所の稼働率向上へ選考基準の見直しを！

Q：多くの自治体で保育士確保策として、処遇改善など様々な取り組みをしているが、本市として今後どのような処遇改善策を検討しているか？

A：市では保育士・保育所支援センターと連携した取り組みをしている。保育士の処遇改善については、今後も様々な機会を通して国に対し要望・提案を行っていく。

Q：事業者が安心して子どもを預かることができる体制構築が必要である。看護師の雇用補助メニューを創設など、検討してもらいたいだろうか？

A：子供の体調急変などに対応するため、看護師の果たす役割は重要と考えている。今後は、他市の状況を調査しながら研究していきたい。

高齢者の健康づくりの為の環境整備を！

- うんどう遊具の適正配置を！
- 医療費・介護費の抑制にうんどう教室の充実を！

Q：うんどう教室は、高齢化を迎える中で、医療費や介護費用の抑制に繋げていくことができる。効果的な実施のためには、利用者にとって使いやすい環境を作っていくことが大事。遊具の適正配置を検討してもらいたい。身近な場所へ遊具の設置はできないか？

A：市民の身近な場所への設置は、利用拡大が期待でき健康で誰もが長生きできる地域社会の実現に向け有効な取り組みである。設置している公園の変更を含めた設置場所の検討を行っていきたい。

